

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-173377

(43)Date of publication of application : 20.06.2003

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-370682

(71)Applicant : SONY COMMUNICATION NETWORK CORP

(22)Date of filing : 04.12.2001

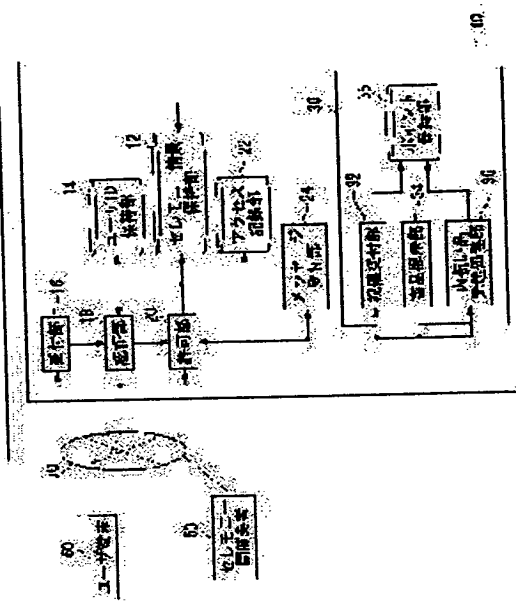
(72)Inventor : MOMOZAKI SATORU

## (54) CEREMONY PRESENTATION SERVER AND GIFT-GIVING SUPPORT SERVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To support the gift-giving necessary for filling a social protocol.

SOLUTION: A gift-giving support part 30 has a payment receiving part 32 for receiving the payment to a specified partner designated by a user, and a commodity presentation part 34 for presenting a list of two or more commodities set according to the paid sum of money to the user, and making the user select a prescribed commodity.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

# (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-173377

(P 2 0 0 3 - 1 7 3 3 7 7 A)

(43) 公開日 平成15年 6 月20日 (2003. 6. 20)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコード (参考)
G06F 17/60	136	G06F 17/60	136
	326		326
	512		512
	ZEC		ZEC

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全7頁)

(21) 出願番号 特願2001-370682 (P 2001-370682)

(22) 出願日 平成13年12月 4 日 (2001. 12. 4)

(71) 出願人 397011373

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社

東京都品川区北品川 4 丁目 7 番35号

(72) 発明者 百崎 知

東京都品川区北品川 4 丁目 7 番35号 ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社内

(74) 代理人 100105924

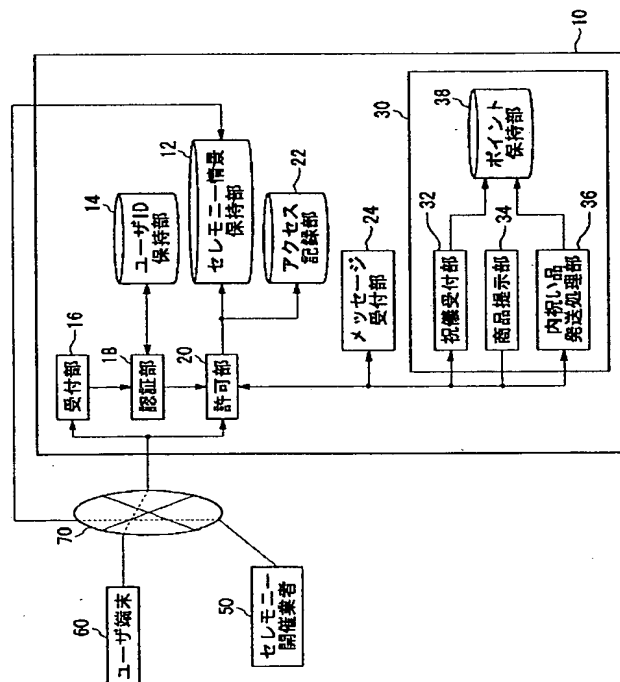
弁理士 森下 賢樹

(54) 【発明の名称】 セレモニー提示サーバおよび贈答支援サーバ

(57) 【要約】

【課題】 人付き合い上の儀礼を果たすのに必要な贈答を支援する。

【解決手段】 贈答支援部 30 は、ユーザが指定した特定の相手への入金を受付ける入金受付部 32 と、入金される額に応じて設定された複数の商品のリストをユーザに提示し、そのユーザにリストの中から所定の商品を選択させる商品提示部 34 とを含む。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 セレモニー開催業者から配信されるセレモニーの情景を招待客に提示するサーバであって、前記招待客を識別する第 1 の情報を保持する保持部と、前記セレモニーに対応付けられた第 2 の情報と前記第 1 の情報との入力を前記招待客から受付ける受付部と、入力された前記第 1 の情報を認証する認証部と、前記第 1 の情報が認証された場合に、前記第 2 の情報に対応付けられた前記セレモニーへのアクセスを許可する許可部と、を含むことを特徴とするセレモニー提示サーバ。

【請求項 2】 アクセスが許可された招待客を識別する前記第 1 の情報を記録するアクセス記録部をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のセレモニー提示サーバ。

【請求項 3】 前記セレモニーにアクセスした招待客からのメッセージを受付けるメッセージ受付部をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のセレモニー提示サーバ。

【請求項 4】 前記セレモニーにアクセスした招待客からの祝儀を受付ける祝儀受付部と、前記祝儀の額に応じて前記招待客への内祝い品の発送手続きを行う内祝い品発送処理部と、をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のセレモニー提示サーバ。

【請求項 5】 ユーザが指定した特定の相手への入金を受付ける入金受付部と、入金される額に応じて設定された複数の商品のリストを前記ユーザに提示し、そのユーザに前記リストの中から所定の商品を選択させる商品提示部と、を含むことを特徴とする贈答支援サーバ。

【請求項 6】 前記商品提示部は、入金された額の所定の割合の額で購入可能な商品のリストを前記ユーザに提示することを特徴とする請求項 5 に記載の贈答支援サーバ。

【請求項 7】 前記入金受付部は、入金された額をポイントに換算し、そのポイント数を利用可能ポイントとして前記相手へ通知することを特徴とする請求項 5 に記載の贈答支援サーバ。

【請求項 8】 前記相手が利用可能なポイント数を記録するポイント保持部と、前記ユーザが選択した前記商品に対応するポイント数を前記利用可能なポイント数から減じる清算部と、をさらに含むことを特徴とする請求項 7 に記載の贈答支援サーバ。

【請求項 9】 前記入金受付部は、前記入金が複数のユーザの共同でなされた場合、前記ユーザの数をも考慮して前記商品を設定することを特徴とする請求項 5 に記載の贈答支援サーバ。

【請求項 10】 ある任意の金額が入金された場合に、

その金額の所定の割合に対応する額以下で購入可能な商品を、その商品の対価を示すことなく提示することを特徴とする商品提示方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】この発明は、ユーザの人付き合い上の儀礼を果たすのに必要な贈答を支援する技術に関する。

【0002】

10 【従来の技術】近年、パーソナルコンピュータの普及とインターネットの基盤整備が急速に進んだ結果、非常に多くのサイトが開設されるようになった。同時に、多くのISP (Internet Service Provider) がサービスの提供を開始し、さらにブロードバンドの進展により動画像などの大容量コンテンツの配信がスムーズに行われるようになってきた。またインターネット上で商品やサービスを販売・提供する電子商取引も盛んに行われるようになってきた。そのため、人々は例えば自宅にいな

20 らず、ショッピングを楽しんだりすることができるようになってきた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】一方、現実の世界では、冠婚葬祭上または季節ごとの贈答品のやりとりなど、従来からの人付き合い上の慣習が残っている。しかし、忙しい日々を送っている人にとっては、このような慣習上の儀礼を果たすのが面倒なために、礼節を欠いてしまうということがしばしばある。

30 【0004】本発明は、こうした状況に鑑みなされたものであり、その目的は、現実の世界での人付き合い上の儀礼を果たすのに必要な贈答を支援する技術を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明のある態様は、セレモニー開催業者から配信されるセレモニーの情景を招待客に提示するサーバに関する。このセレモニー提示装置は、招待客を識別する第 1 の情報を保持する保持部と、セレモニーに対応付けられた第 2 の情報と第 1 の情報との入力を招待客から受付ける受付部と、入力された第 1 の情報を認証する認証部と、第 1 の情報が認証された場合に、第 2 の情報に対応付けられたセレモニーへのアクセスを許可する許可部とを含む。セレモニーとは、例えば結婚披露宴、還暦パーティー、または葬儀などの式典であってよい。従って、セレモニー開催業者とは、一般的にはこれらのセレモニーを開催する業者のことである。また、セレモニーの配信は、実際のセレモニーを開催する業者とは異なる別の主体によって行われてもよい。セレモニーは、セレモニーが行われている会場に設けられたカメラなどの撮影装置を用いて略リアルタイムで招待客に提示されてもよく、撮影されたセレモニーの

50

情景を編集して後に提示されてもよい。また、実際のセレモニーが行われる場合に限らず、配信するために作成されたセレモニーの情景を提示してもよい。

【0006】セレモニー提示装置は、アクセスが許可された招待客を識別する第1の情報を記録するアクセス記録部をさらに含んでもよい。セレモニー提示装置は、セレモニーにアクセスした招待客からのメッセージを受付けるメッセージ受付部をさらに含んでもよい。

【0007】セレモニー提示装置は、セレモニーにアクセスした招待客からの祝儀を受付ける祝儀受付部と、祝儀の額に応じて招待客への内祝い品の発送手続きを行う内祝い品発送処理部とをさらに含んでもよい。ここで、祝儀受付部は、招待客から任意の額の祝儀を受付けてよい。

【0008】本発明の別の態様は、贈答支援サーバに関する。贈答支援サーバは、ユーザが指定した特定の相手への入金を受付ける入金受付部と、入金される額に応じて設定された複数の商品のリストをユーザに提示し、そのユーザにリストの中から所定の商品を選択させる商品提示部とを含む。ここで、入金受付部は、ユーザから任意の額の入金を受付けてよい。

【0009】商品提示部は、入金された額の所定の割合の額で購入可能な商品のリストをユーザに提示してよい。ここで、ユーザに提示される商品のリストにはその商品の金額が表示されないのが好ましい。

【0010】入金受付部は、入金された額をポイントに換算し、そのポイント数を利用可能ポイントとしてユーザが指定した相手へ通知してよい。贈答支援サーバは、ユーザが指定した相手が利用可能なポイント数を記録するポイント保持部と、ユーザが選択した商品に対応するポイント数を利用可能なポイント数から減じる清算部とをさらに含んでもよい。

【0011】入金受付部は、入金が複数のユーザの共同でなされた場合、ユーザの数をも考慮して商品を設定してよい。

【0012】本発明の別の態様は、商品提示方法に関する。この方法は、ある任意の金額が入金された場合に、その金額の所定の割合に対応する額以下で購入可能な商品を、その商品の対価を示すことなく提示する。

【0013】なお、以上の構成要素の任意の組合せや組替え、本発明を方法、サーバ、コンピュータプログラム、記録媒体などと表現したものもまた、本発明の態様として有効である。

【0014】

【発明の実施の形態】図1は、実施の形態に係るセレモニー提示サーバ10を含むネットワークシステムである。本実施の形態におけるセレモニー提示サーバ10は、ユーザ端末60のユーザに結婚披露宴などのセレモニーをネットワーク上で閲覧させる。これにより、ユーザは実際にセレモニーに参加していなくても、そのセ

レモニーに参加したのと同様の感覚を味わうことができる。また、セレモニー提示サーバ10は、贈答支援部30を有し、セレモニーに参加する人からの祝儀を受付けたり、その参加者への内祝い品の発送処理を行ったりする。

【0015】セレモニー提示サーバ10は、セレモニー開催業者50から配信されるセレモニーの情景を保持するセレモニー情景保持部12と、そのセレモニーへの招待客を識別するユーザIDを保持するユーザID保持部14と、そのセレモニーに対応付けられたセレモニーIDとユーザIDとの入力を招待客から受付ける受付部16と、入力されたユーザIDを認証する認証部18と、ユーザIDが認証された場合に、セレモニーIDに対応付けられたセレモニーへのアクセスを許可する許可部20とを含む。セレモニー提示サーバ10は、アクセスが許可された招待客のユーザIDを記録するアクセス記録部22と、招待客からのメッセージを受付けるメッセージ受付部24と、贈答支援部30とをさらに含む。

【0016】贈答支援部30は、招待客が指定した特定の相手への入金を祝儀として受付ける祝儀受付部32と、入金される額に応じて設定された複数の商品のリストを招待客に提示し、その招待客にリストの中から所定の商品を内祝い品として選択させる商品提示部34と、招待客が選択した内祝い品の発送手続きを行う内祝い品発送処理部36と、ポイント保持部38とを含む。本実施の形態において、祝儀受付部32は、招待客から入金された額をポイントに換算する。ポイント保持部38は、招待客に指定された相手が利用可能なポイント数を保持する。内祝い品発送処理部36は、招待客が選択した内祝い品に対応するポイント数をポイント保持部38に保持されたポイント数から減じる清算部を含む。図示していないが、祝儀受付部32は招待客から入金された額を換算したポイント数を利用可能ポイントとして相手へ通知する通知部を有してもよい。

【0017】本実施の形態において、セレモニー開催業者50は、結婚披露宴開催者である。図2は、インターネット70上における結婚披露宴への招待客に送付される招待状100を示す。招待状100には、結婚披露宴が開催される日時、場所、招待客用のIDおよびパスワードが記載される。通常、結婚披露宴の招待状と異なる点は、「場所」は現実には結婚披露宴が行われる場所ではなく、結婚披露宴の情景が閲覧可能なウェブページのURLであること、およびそのウェブページを閲覧するために必要な招待客用のIDおよびパスワードが記載されていることである。この招待状100は、電子メールなどでインターネット70を介して招待客に送付されてもよく、また郵送で送付されてもよい。

【0018】図3は、ユーザID保持部14の内部構成を示す。ユーザID保持部14は、セレモニーID欄110およびユーザID欄112を有する。ここで例えば

セレモニーIDが「Suzuki&Sato」である結婚披露宴への招待客のユーザIDは、「Yuri\_Yamada」「Hiroshi\_Tani」などである。なお、各ユーザIDには、任意で「abc123def」、「bcd234efg」などのパスワードを対応づけてもよい。

【0019】例えばユーザIDが「Yuri\_Yamada」である招待客がウェブページ「http://www.wedding.xxx/Suzuki&Sato」にアクセスすると、「IDおよびパスワードを入力してください」というメッセージが表示される。招待客がID「Yuri\_Yamada」およびパスワード「abc123def」を入力すると、認証部18はユーザID保持部14を参照する。ここで、ユーザIDおよびパスワードが認証されると、許可部20は、この招待客の結婚披露宴のウェブページへのアクセスを許可する。このとき、アクセス記録部22に、ユーザIDが記録される。アクセス記録部22に記録されたユーザIDは、結婚披露宴の新郎新婦に報告される。これにより、新郎新婦は、インターネット上における結婚披露宴を閲覧してくれた参加者を知ることができる。

【0020】図4は、結婚披露宴のウェブページへのアクセスが許可された招待客に表示される画面120を示す。これは、実際の結婚披露宴の受付のようなものであり、「お祝を送る」、「メッセージを送る」、「披露宴会場へ」などの表示が示される。招待客であるユーザが「お祝を送る」を選択すると、祝儀入金画面が表示される。祝儀受付部32は、ユーザから任意の額の祝儀を受け付ける。ユーザからの祝儀の入金は、クレジットカード、オンラインバンキング、電子マネー、ポイント制度などをを用いたオンライン決済で行われてよい。なお、祝儀受付部32は、通常の通貨により祝儀を受け付けた場合、その祝儀をポイントに換算する処理を行った後に、ポイント保持部38にポイントを持保持させてもよい。ユーザへの内祝い品の発送処理に関しては後述する。

【0021】ユーザが「メッセージを送る」を選択すると、メッセージ入力画面が表示される。メッセージはテキストデータで入力されるようになっていてもよいが、ユーザ端末60にカメラが設置されている場合には、ユーザの写真やビデオが入力されるようになっていてもよい。ユーザが「披露宴会場へ」を選択すると、結婚披露宴が行われている会場に設けられたカメラなどの撮影装置を用いて撮影される披露宴の情景が略リアルタイムで提示される。披露宴の情景の提示は、ストリーミング技術などをを用いて行われてよい。

【0022】次に、ユーザへの内祝い品の発送処理を説明する。図5は、商品提示部34に含まれる商品情報保持部の内部構成を示す。商品情報保持部は、祝儀ポイント欄130、内祝い品欄132、および内祝い品ポイント欄134を有する。商品提示部34は、例えば300

0~5000ポイント以下の祝儀を入金したユーザに対しては、800ポイントに対応する内祝い品のリストを提示する。ここでは同じカテゴリー内の内祝い品のポイント数を均一にしているが、ポイント数が異なる内祝い品を同じカテゴリーの中に入れてもよい。なお、内祝い品に対応するポイント数はユーザに提示されないのが好ましい。

【0023】ここで、例えば祝儀として4000ポイントの入金をしたユーザに対しては、内祝い品として「ハンカチ」、「クッキー」などが提示される。ユーザが内祝い品として「ハンカチ」を選択すると、「ハンカチ」に対応するポイント数は800ポイントであるので、内祝い品発送処理部36は、そのユーザへの「ハンカチ」の発送処理を行うと共に、ポイント保持部38に保持されたこの新郎新婦のポイントから800ポイントを減じる処理を行う。なお、ポイント保持部38は、祝儀を入金したユーザのIDと、そのユーザが入金した祝儀のポイント数、およびそのユーザに発送処理を行った内祝い品に対応するポイント数とを対応づけて保持するのが望ましい。これにより、新郎新婦は、誰からいくらの祝儀をもらったか、またその人にどの程度の内祝い品が贈られたかを知ることができる。なお、ユーザID保持部14は、ユーザIDに対応づけて、そのユーザの住所録を保持するのが好ましい。この場合、内祝い品発送処理部36は、ユーザID保持部14を参照して内祝い品の配送先の情報を得る。他の例において、内祝い品発送処理部36は、ユーザに配送先を入力させてもよい。

【0024】図6は、贈答支援部30の他の例を示す構成図である。図1に示した構成に加えて、贈答支援部30は、割合保持部130と商品検索部132とを有する。割合保持部130は、予め新郎新婦により定められた祝儀の額に対する内祝い品の額の割合を保持する。この割合は、例えば、3000ポイント~5000ポイント以下の祝儀の場合は2割、5000ポイント~8000ポイント以下の祝儀の場合は1.5割・・・というように入金される額に応じて個別に定められていてもよい。商品検索部132は、入金された金額の所定の割合に対応する額以下で購入可能な商品を検索する。商品検索部132は、インターネット70を介して外部の商品提供業者のサーバ80から商品を検索してもよい。この場合、商品提示部34は、通常のオンラインショッピングとは異なり、その商品の対価を示すことなく商品を提示するのが好ましい。このようにすれば、招待客が祝儀を贈ったときに内祝い品の発送処理も行いうるので、新郎新婦が後日改めて内祝い品を送る必要がない。また、招待客側は、提示された商品から自分の欲しい内祝い品を選択できるので、好ましくない儀礼的な内祝い品をもらって処理に困るということもなく、円滑な贈答品のやり取りが行える。

【0025】なお、以上の例において、贈答支援部30

は商品検索部 132 を有しなくてもよい。この場合、贈答支援部 30 は、外部の商品提供業者が提供するサーバ 80 に内祝い品の額を通知し、その商品提供業者にその額以下で購入可能な商品を検索させてもよい。

【0026】以上、本発明を実施の形態をもとに説明した。この実施の形態は例示であり、それら各構成要素や各処理プロセスの組合せにいろいろな変形例が可能なこと、またそうした変形例も本発明の範囲であることは当業者に理解されるところである。そうした変形例を挙げる。

【0027】祝儀受付部 32 は、入金が複数のユーザの共同でなされた場合、ユーザの数をも考慮して商品を設定してよい。祝儀受付部 32 は、複数のユーザのユーザ ID を受付け可能であるのが好ましい。例えば新婦の友人 5 人で共同で祝儀を入金した場合、祝儀受付部 32 は、5 人分のユーザ ID を受付ける。この場合、祝儀受付部 32 は、入金された祝儀の額を 5 で割った額を一人あたりの祝儀の額として算出する。商品提示部 34 は、祝儀受付部 32 が算出した祝儀の額に応じて設定された商品のリストを提示する。商品提示部 34 は、ユーザ ID を元に、各ユーザにメールなどでリストを送付し、各ユーザに内祝い品を選択させてもよい。

【0028】贈答支援部 30 が割合保持部 130 および商品検索部 132 を含む場合、商品検索部 132 は、一人あたりの祝儀額の所定の割合に対応する額以下で購入可能な商品を検索してよい。

【0029】さらに、贈答支援部 30 は、セレモニーとは関係なく単独で設置されてもよい。例えば入学式を迎える子供用の祝儀を贈答支援部 30 により受取るようにしてもよく、お中元やお歳暮を贈答支援部 30 により受取るようにしてもよい。贈答支援部 30 は、世の中のだ

のような贈答品のやり取りにも用いられ得る。

【0030】また、祝儀はポイントや現金である必要はなく、商品のプレゼントであってもよい。贈答支援部 30 は、外部の商品提供業者が提供するサーバと連携して、そのサーバに贈答品の額を通知して、その額に応じた商品を提示させてもよい。

【0031】

【発明の効果】本発明によれば、人付き合い上の儀礼を果たすために必要な贈答を簡易に行うことができ、人との付き合いを円滑に進めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 実施の形態に係るセレモニー提示サーバを含むネットワークシステムの構成図である。

【図 2】 インターネット上における結婚披露宴への招待客に送付される招待状を示す図である。

【図 3】 ユーザ ID 保持部の内部構成を示す図である。

【図 4】 結婚披露宴のウェブページへのアクセスが許可された招待客に表示される画面を示す図である。

【図 5】 商品提示部に含まれる商品情報保持部の内部構成を示す図である。

【図 6】 贈答支援部の他の例を示す構成図である。

【符号の説明】

10・・・セレモニー提示サーバ、12・・・セレモニー情景保持部、14・・・ユーザ ID 保持部、16・・・受付部、18・・・認証部、20・・・許可部、22・・・アクセス記録部、24・・・メッセージ受付部、30・・・贈答支援部、32・・・祝儀受付部、34・・・商品提示部、36・・・内祝い品発送処理部、50・・・セレモニー開催業者、60・・・ユーザ端末、130・・・割合保持部、132・・・商品検索部。

【図 2】

Wedding Invitation

このたび私たちは結婚することになりました  
ご多用中とは存じますが披露宴に  
ご出席下さいますようお願い申し上げます

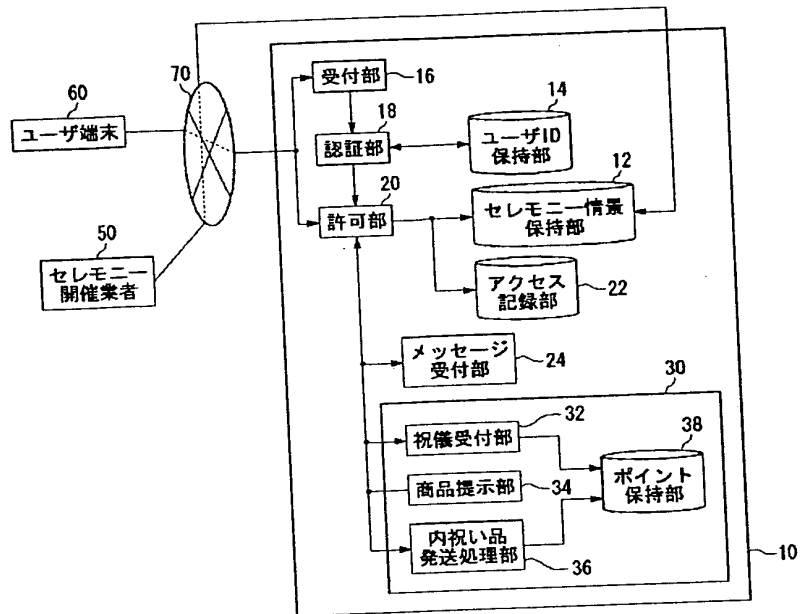
日時：2001年10月10日 午後2:00から  
場所：http://www.wedding.xxx/Suzuki & Sato  
あなたのID：Yuri\_Yamada  
パスワード：abc123def

鈴木太郎  
佐藤ハナ

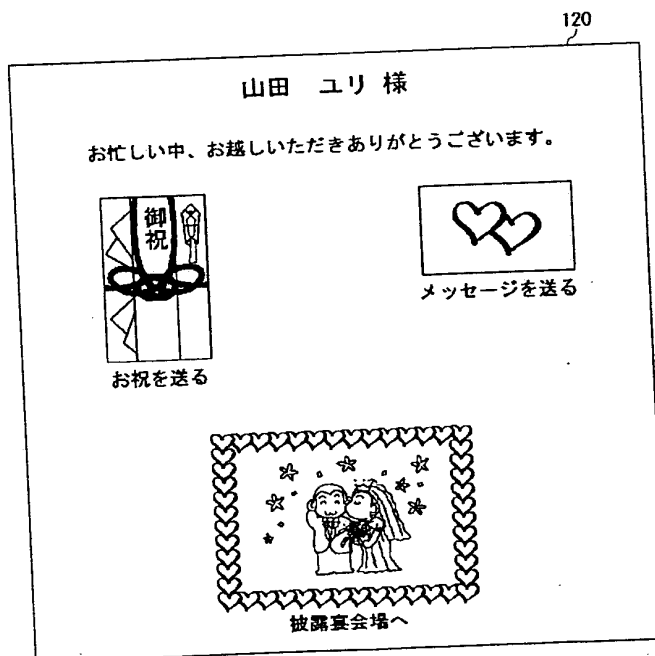
【図 3】

セレモニーID	ユーザID	
	ユーザ名	ユーザID
Suzuki & Sato	Yuri_Yamada	abc123def
	Hiroshi_Tani	bcd234efg
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

【図1】



【図4】



【図5】

祝儀ポイント 130	内祝い品 132	内祝い品 ポイント 134
3000以下	—	0
3000～5000以下	ハンカチ、クッキー、・・・	800
5000～8000以下	タオル、スリッパ、・・・	1500
8000～10000以下	小皿、バスタオル、・・・	2500
10000～15000以下	ワイングラス、ティーカップ、・・・	3000
⋮	⋮	⋮

34

【図6】

